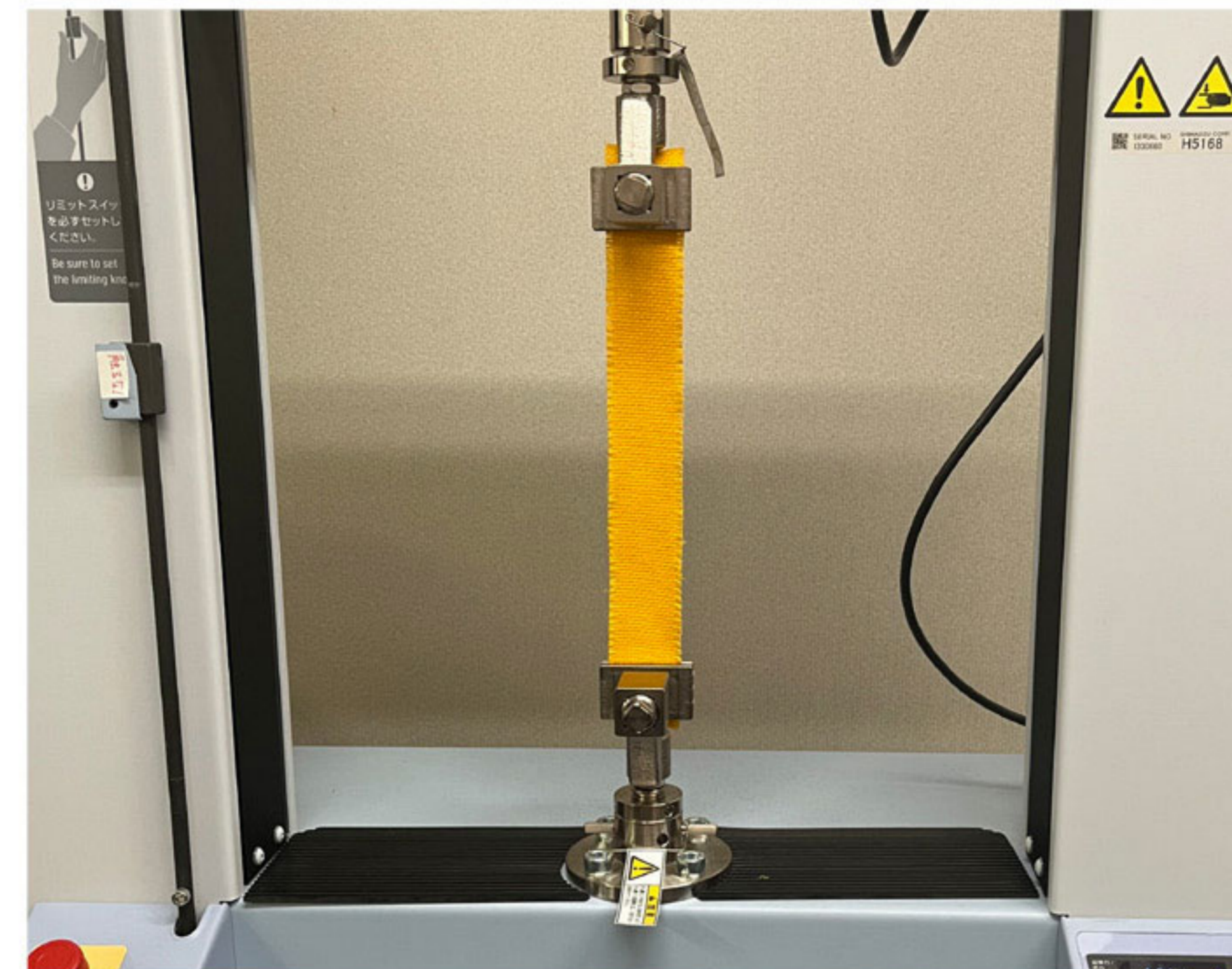


安心してお使いいただくために

剥離試験機 [剥離強度] JIS K 6772



引張り強さ及び伸び率  
JIS L 1096 JIS K 6772

滑脱抵抗力  
JIS L 1096

レザー基布とPVC部分が剥離しないよう、椅子張り用に適した数値管理をしています。海外レザーでは、初期の数字と使用中の数字低下(劣化)が大きいケースで、表面の破れに繋がっていますが、私共では、これをノウハウで防ぎます。また、ファブウェル®のフィルムと接着強度も試験しています。

座る際に、クッションで沈んだ時に、表面材が破れないように強度の数字管理、または、商品の強度バランスを観察します。

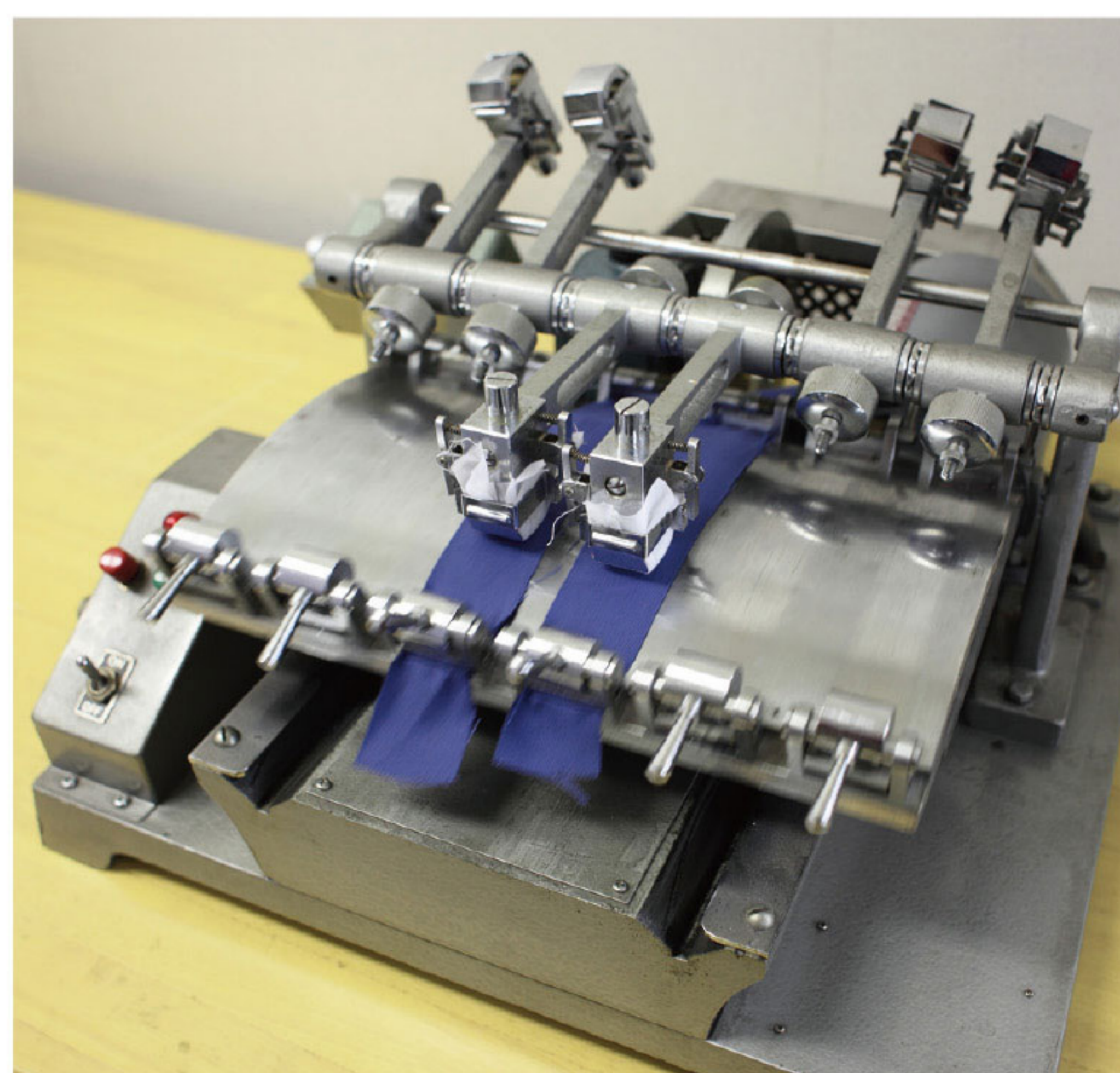
縫い目やタッカーの打込みによる糸抜けが無いか確認します。この数値が弱くても、ミシンの精度や調整で大分カバーできるのですが、安定度を管理するためにも用います。また、試作中に縦横の強度バランスを見るのにも適しており使用します。

ジャングル試験機 [加水分解試験] 椅子張り合成皮革規格



主に海外製ポリウレタン樹脂で問題となる加水分解の促進度合を測る試験です。温度70℃、湿度95%という過酷な条件をこの機械でつくり、10週間から20週間放置し、樹脂の劣化を促進させます。その後、各種強度試験をして、試験前後の強度変化を確認します。大型機と中型機で追試を繰り返して、品質保証をしています。近年では、海外製が試験に持ち込まれますが、バラつきが激しく、継続して合格した例はありません。湿度を95%から緩和するなどすると、合格する例もある様ですが、長い目で見て品質保証していると思えませんし、インチキで悪質業者と断定します。

摩擦堅牢度試験機 [摩耗色落ち] JIS L 0849、JIS K 6772



白い布を擦り付けて、色が落ちないか確認します。布を乾燥させた状態と、汗や湿気などを想定して、濡らした状態で試験します。